

# NPO Kyoken 通信 125号

発行日 平成 29 年 7 月 7 日 / 発行者 特定非営利活動法人 教育研究所

## 本部（横浜事務所）

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20

TEL: 045-848-3761 | FAX: 045-848-3742

Email: [contact@kyoken.org](mailto:contact@kyoken.org) | URL: <http://kyoken.org/>

## 宇奈月自立塾

〒938-0282 黒部市宇奈月温泉 5509-16

TEL: 0765-62-9681

FAX: 0765-62-1120

## にいかわ若者サポートステーション

〒938-0037 黒部市新牧野 103 ファーストビル 3F

TEL: 0765-57-2446 | FAX: 0765-57-2447

Email: [contact@nsapo.org](mailto:contact@nsapo.org)

URL: <http://nsapo.org/>

不登校やひきこもりの人生とかかわって 45 年余りが過ぎた。

以前と比べ、かなりその性格が変わってきた。

こころを閉ざして受け入れないことは同じだが、少し人間関係ができてくると、話ができる。

以前は生きること、他者との関係が上手くいかないこと、神経症等の病気でないか真剣に悩んでいた。そして、社会で自分が自立して行けるのかどうか悩んでいた。

会話は真剣勝負だった。

最近では、自分の人生だから自分で考えると言い。漫画、アニメ、動画、ゲーム三昧の人生を送っている。働くのは、親、他人であって自分ではない。お金は親が何とかする、ダメなら生活保護を使えばよい。働くのは他人ごと、政治家だっていい加減なことばかり言って無責任、お笑いタレントだって学歴を自慢し、面白くないタワ言ばかりを言って大金を稼いでいる。商品だって、広告でブランド名だけ売って、中身はすぐ壊れる外国産、お金ばかりが動く世の中、楽しいことだけやればよいとする青年が増えている。

先進国でキャリア教育が行われてない貧しさが現れ始めている。学歴はあるが頭が動かない。タイの大学生は黙々働き、日本語を覚えていく、日本人の若者は、口は動くが働かない若者が多い、どうしたらよいのか、頭の痛い国である。

就労観のない若者に自立訓練をすることは、単に就労訓練をすることだけではなく、自分は何ができるのか、どんな仕事に向いているのか、どう生きること、働くことから学ばなければならない。自立塾始まってから 12 年、思いは深い。

理事長 牟田 武生

## これからの支援…

NPO 法人教育研究所 理事 牟田光生

今年の1月に自立援助ホーム「うなづき」が開所し、15歳～20歳までの児童相談所処置の若者を支援する事が出来るようになりました。

さて、これからの問題として…

今、全国的に有効求人倍率が高く、富山では1.75倍で黒部市では2倍を超えております。(平成29年度4月時点2.25倍)

団塊の世代が完全に引退や退職し、その穴を埋める労働力不足が慢性的に日本で起こっております。売り手市場の状態です。

その中で中々就労が決まらない若者…そういった状況の若者たちを何とか就労に結びつけるにはどうしたらよいか？また、生活困窮者の支援も行っておりそういった方々の特性も大分把握する事が出来てきました(次回にでも)

サポステでの相談も医療系や発達障害のケースが格段に増えており、停滞していく子たちもそういった特性が見え隠れします。

また、全国の自立援助ホームの中で出てきた意見で5割くらいは発達障害かも…と言う所感があります。そういった子達をなんとか様々な形で就労に結び付ける為どうしたらよいか？

もう一つ…

黒部市内には「就労移行支援事業所」が無く、地域のニーズでも必要性が出て来ていると、と黒部市市議会でも意見がありました。

その為、今年度は我々として「就労移行支援」と「就労継続支援B型」を多機能型支援事業所として、現在申請を出している所です。

地域のニーズと、我々の支援を必要としている方へのスムーズな支援と、2つを組み合わせた時に必要性を感じております。

ただ、我々は我々の考えで「多機能型支援」や「自立援助ホーム」を運営していく！

と言う事です。

どうしても福祉的な部分の強い分野での就労支援で、我々は就労側の観点からの受託になります。福祉と就労…どうしても相反する部分があるのですが、「福祉」と「就労」に間に教育的観点をもった橋を架けて我々流の支援が出来れば…と思っております。

就労は強制ではありません。

しかし、社会的自立や真の意味での自由を得るために就労は避けては通れませんし、社会的孤立の解消として、段階を経た就労は必要と考えております。

## 就労の階段

NPO 法人教育研究所 理事 牟田光生

就労には階段が必要だと我々は考えております。

実は普通に考えられている「ハローワークや求人誌等→就職」には高いハードルがあります。

また、最低賃金がどんどん上がっておりますが（神奈川県 930 円・富山県 770 円）上がれば上がるほど就労ギリギリラインの人たちは就労が厳しくなる…と言う現実があります。

就労への階段とは？（宇奈月での場合）

第一段 居場所的な場所の提供（サポステ・宇奈月自立塾）

第二段 生活を整える（宇奈月自立塾での寮生活、サポステに通う等）

第三段 サポステでの講義・座学・適正検査・面談 等々

第四段 就労体験（賃金は発生せず、お土産は貰える事も…）

第五段 中間的就労\*1「黒部市立図書館の清掃」「宇奈月公園の足湯清掃」「各会社からの請負軽作業」「ポスティング」等など宇奈月自立塾での請負業務。本人たちへの賃金は寸志程度発生

第六段 就労体験からの雇用（実務や人柄を見ながらの採用）賃金は各社によるが最低賃金以上

第七段 ハロワやフリーペーパーを通じた一般的な就労（アルバイト等）

第八段 正社員へ

第九段 就労継続支援

と、考えており。短期離職してしまう原因の一つである。プレッシャーを少しでも軽減できるよう自信の積み重ねを考えております。

また、第五段から賃金が発生する事になり、賃金が発生する有難さや責任感（時間を守る・業務をやりきる等）を感じてもらい少しずつ成長出来るように設計しております。

じっくりと本人たちの段階や特性を加味した上で、発達障害・精神・知的障害をもった利用者にも利用できる取り組みだと感じております。

その為、いくつかの病院等\*2と医療協定を結び、様々なケースに応じた「自立」に対応できるようにしております。

\*1 中間的就労とは？ 一般就労の前段階の就労で体験から賃金が発生する形で行われる就労事業

\*2 魚津神経サナトリウム・真生会富山病院・谷野呉山病院

## インターンシップ支援状況 3

国際事業部総合コーディネーター 牟田吉彦

7月になりました。新緑が深まる宇奈月では昨年7月から研修に来たタイのサイアムデュラキット工科大学の一期生14名が1年間の研修を経て、6月末にタイへ帰国しました。

現在、宇奈月自立塾には、今年の4月から新しくインターンシップで訪日した2期生のタイの学生さん21名が入寮し、宇奈月温泉にある各ホテルで研修を行っています。

長いようであつという間の1年間でしたが、振り返る暇もなく、帰国する一期生の学生さんと入れ替えて、さらに新たにインターンシップ2期生が10名入寮します。全員で31名になります。

今までに前例のない外国とのインターンシップの事業を富山県がとても注目されまして、日本語の授業支援や各学生に富山県の観光名所を無料で連れて行ってもらえるようにもなりました。これも一生懸命頑張って研修を務めた一期生の頑張りだと思います。

今でも日本で生活している先輩である一期生が新しく入った二期生に仕事のやり方や日本での暮らし寮での生活等を教えてくれているので頼もしい限りです。卒業した一期生ですが、1年前の当初に比べるとかなり日本語が上達しました。

彼らは日本に来る前にタイでの日本語の授業の時間も少なく、当初は私もほぼ100%と言ってもいいくらいタイ語で会話をしていましたが、今では日本語とタイ語と半分半分くらいで会話している学生さんもいます。またタイに帰国しても日本語を勉強し続け将来的には日本でのホテルへ就職したいと言っている学生さんもいました。

語学は使わなければすぐに忘れてしまうものなので、タイに帰国しても日本語を学び続けていつかは日本で働くという夢を実現できるよう頑張ってもらいたいと思っております。

今年の4月から研修が始まった二期生ですが、彼らは一期生と比べても恵まれて、宇奈月温泉の各旅館でも先輩方が得た信頼があり、一期生の頃と比べても大分働きやすい環境が作られている様子です。

今年度からは日本語の授業も富山県からの支援で行っています。真面目に勉強する学生、勉強はまだ少し気持ちがおいついていない学生と様々ですが、少しでも日本語が上達してくる学生さんが現れたらいいなと思い、日本語の授業の手伝いをしております。

昨年7月に始まりましたインターンシップ支援ですが、もうじき1年が経過し、富山県だけでなく全国各地の様々な企業や各旅館がこの事業を注目しています。

今後は宇奈月だけではなく富山県内の各ホテルや旅館等に学生さんが研修をする等、支援の形も変革の時期にきていますが、我々教育研究所スタッフ一同、出来る限りの支援をしていけたらと思います。

## ビジネスアイテムありがとうございます

NPO 法人教育研究所職員一同

本当に沢山のビジネスアイテムのご寄付ありがとうございます。

今、宇奈月自立塾では支援の枠が増え、本稿でも述べさせて頂いたとおり、今年1月から自立援助ホーム「うなづき」の開所を致しました。

来る子たちは児童相談所処置の15歳～20歳の若者です。

この児童相談所処置…とは主に児童養護施設出身者で職が決まっていない若者やネグレクトや虐待等を受け、緊急保護から親元へ返せない若者達になります。

親の必要最低限の支援が受けられない若者達です。

就職に関して親が当たり前のように、ビジネスアイテム一式や携帯電話、運転免許、果ては自動車や単身用住居等、親が出してくれて整えられる物は実は沢山あります！本当に親に感謝です。しかし、自立援助ホームに入所する若者は、そういったハンデを自力で補わなければなりません。

揃える為には…

お金が必要です！

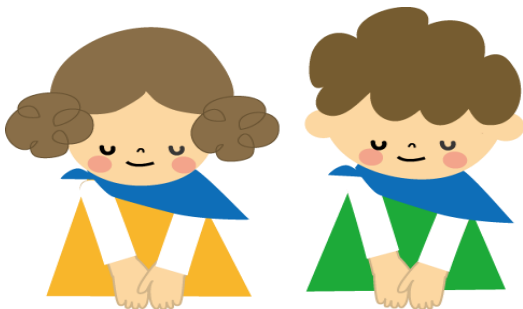
しかし、お金を稼ぐ為に就職活動をしようにもスーツは勿論、靴やシャツ・スラックス等がない状況では職業選択がどうしても限られてしまうのが現状です。

そういった若者達にご支援頂きありがとうございます。

職員一同、自立援助ホーム「うなづき」の寮生も皆様の「あしながおじさん」的な存在を大変うれしく思い感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

\*もちろんまだまだ受け付けておりますのでよろしくお願いいたします。



# 牟田武生理事長のプログラム等のご案内

## ● カウンセリング

横浜では土、日を中心に行っております。要予約、電話またはメールでお問い合わせください。

1時間 15,000円（会員10,000円）、1時間半 18,000円（会員13,000円）。

富山では月1回、宇奈月自立塾（宇奈月温泉）で行っております。料金は横浜と同じです。

また、全国各地で行われる講演や研修の際に不定期に行っております。

メール相談は会員のみ。原則無料ですが、ご寄付お願いいたします。

詳しくはお問い合わせください。

## ● 講演

教育委員会・児童民生委員・親の会・私立学校連合会・PTA・福祉関係等、様々なところで研修・講演も行っております。また、マスコミ関係の研修・番組企画・企画相談等もやっております。研修会の企画立案、コーディネートもご相談ください。（有料）

## 会費納入のお願い

NPO 法人教育研究所は、皆さまの会費を運営資金の一部に利用させていただいています。内訳は会員通信費 40%、寄付 60%です。年会費は1口 5,000円ですが、何口でも構いません。そして、年会費は会費をお支払いいただいた日から1年間有効です。継続を希望される方は、有効期限が切れる前に継続の会費を納めていただけるようお願いいたします。

- 横浜銀行 上永谷支店（323） 普通 1442822

名義 特定非営利活動法人教育研究所 理事長 牟田武生

- 郵便振替 00230-9-112182 特定非営利活動法人 教育研究所

\*入金確認後、会員証を発行致します。

## 宇奈月からのプログラム等のご案内

### ● 都市部へのアウトリーチ

月に一度程度ですが、東京に牟田光生が出ております、その際に宇奈月自立塾への誘導アウトリーチを行っております。(3時間まで 9000 円~+東京からの交通費)最後のピックアップ(宇奈月までの付き添い)も行いますので、よろしければご利用下さい。

### ● 宇奈月自立塾への見学旅行

個別にも対応いたしますし、団体でも是非見学にいらして下さい。(一泊2食付き一人 5000 円)これからトロッコ電車のシーズンになります、自然体験も沢山できます!東京から約 2 時間半です。一度は北陸新幹線に乗って見学兼で是非ご旅行に来て下さい。

ほかにも、「夏の短期合宿」の案内を同封いたします。

秋には「ニート甲子園」秋の陣もあります。

皆様お誘いあわせの上ご参加下さい。

お待ちしております。



## 編集後記

有名大学を卒業、弁護士になり、森友学園問題にもかかわり、防衛大臣でもある女性、法律家でもあるが法を知らない愚民が自衛隊を握る。

東大法学部を卒業、厚労省のキャリア官僚になり、ハーバード大学院を卒業、その後、衆議院議員になる、知的な上、職歴も立派、でも行うことは、部下に対して暴言と暴力、パワハラ議員、困ったことである。学問は知性だけでなく、人格者を育てることなのに何か、おかしい事件が多い。

自立塾はあらたな青少年の社会問題、国際問題を取り込み始めた。

寮長はじめ、スタッフも大忙しである。

若い皆（もう、40代前後だが…）頑張ってくれると思う。

（武）

40代50代でひきこもっていて、両親が亡くなる…

と、警鐘はしてきていたが、遂に富山でも事例が出てきて現在支援を開始したところです。

40代の支援というのは丁度就職氷河期世代でもあり、本人達だけの問題ではなく社会に翻弄され、気力や若さを失ってしまったケースも多い（上記の問題はちょっと違いますが…）

年齢×10倍の年収は40代履歴の空白有では正直難しいし、都市部では物価の関係でその金額でも生活は厳しいだろう。

ひきこもりたくてひきこもっている訳ではない40代50代の方！

年齢×5でも生活できる地方は良いですよ、もちろん物質的には中々豊とはいいたいがたいですが、環境や精神的にはコンクリートジャングルで四季の感じにくい都会より、四季がはっきりして（冬は多少厳しいですが…）いる地方は良いものです。

親が亡くなって本腰あげるより…

今のうちです！最後に親孝行出来るのは、と、思っております。

就職氷河期世代として一緒に地方ライフをしてみませんか？

（光）